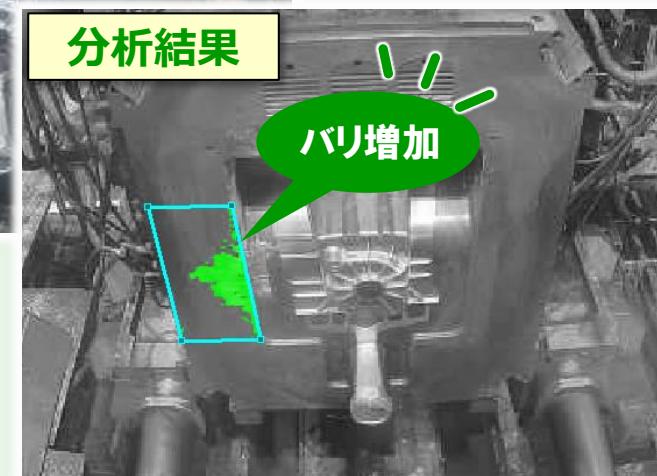
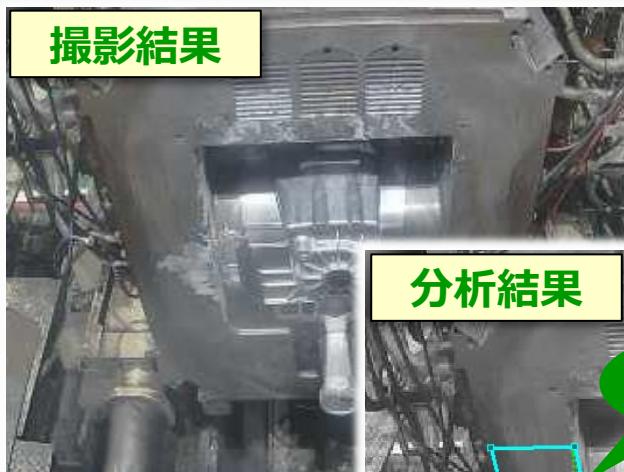
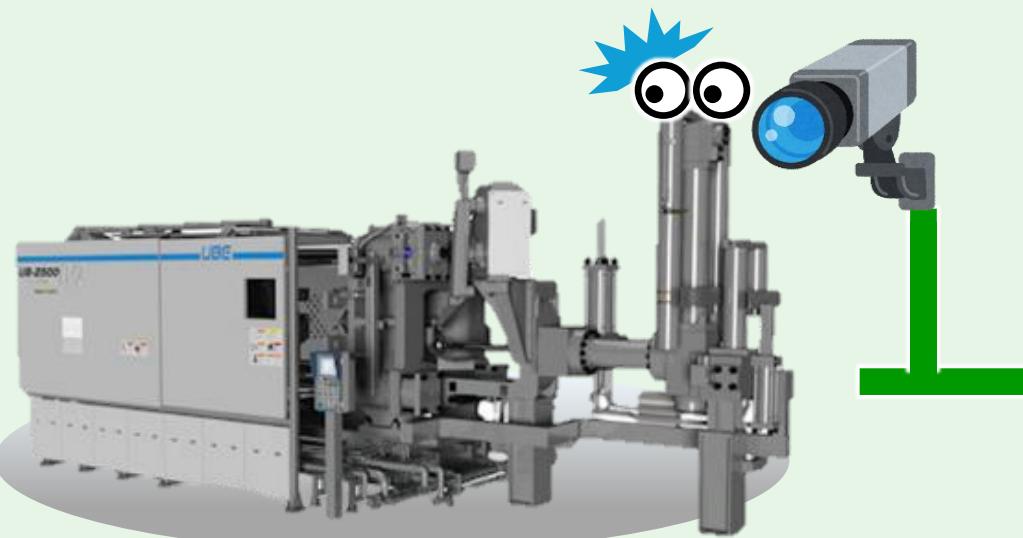


# 生産センシングシステム Dsupport-Eye

UBE  
UBEマシンナリー株式会社

ダイカストマシンに **眼** を付ける  
オペレーターに代わって、生産阻害要因を発見  
しっかり見張って生産管理をアシスト



バリ増加

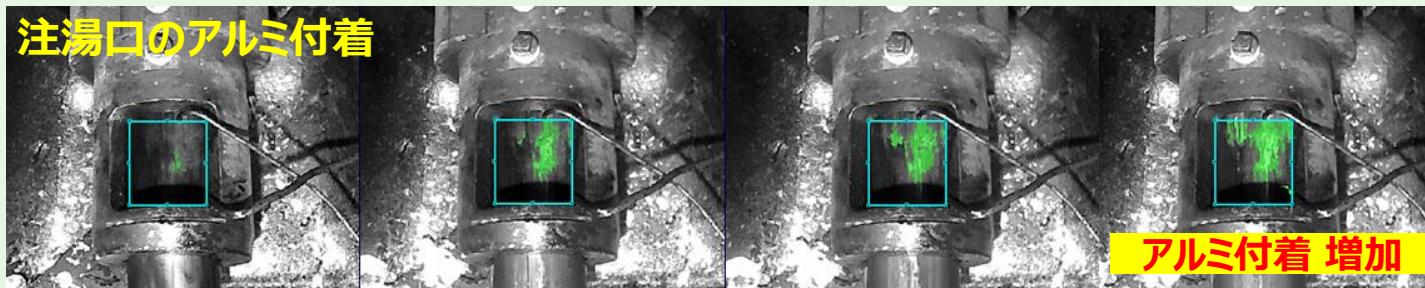
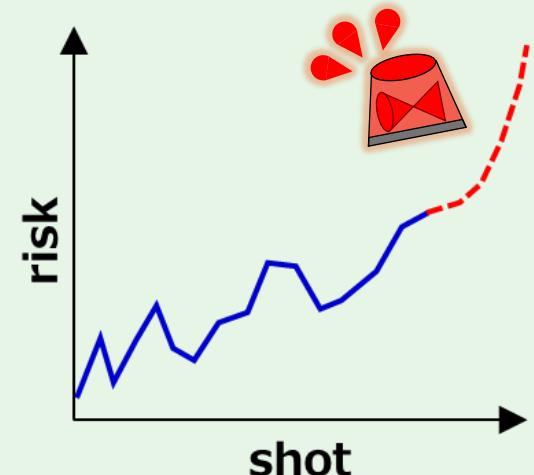
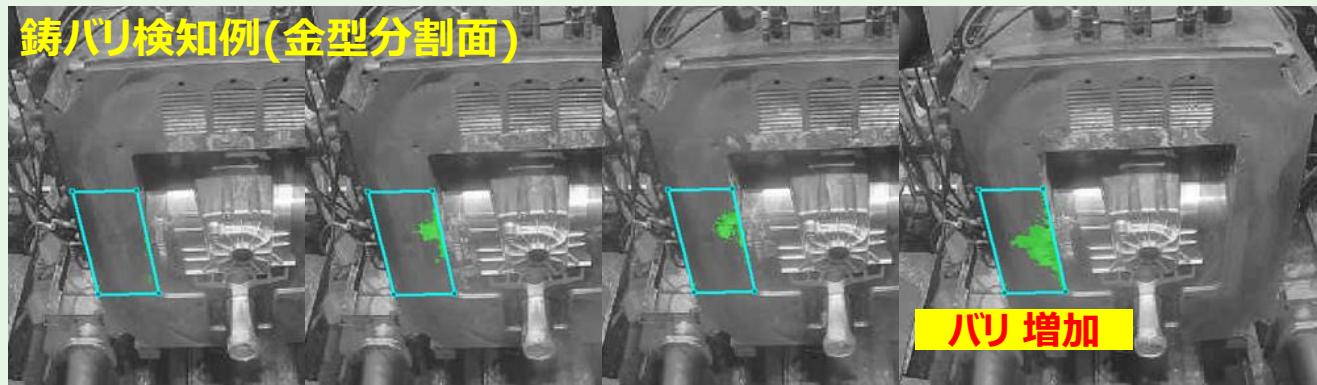
# 生産センシングシステム Dsupport-Eye

## 画像分析

画像の指定した領域内を分析。

**鋳バリやアルミ付着の有無や増減を定量的に評価。**

分析結果に応じて、**ダイカストマシンの警報発出やサイクル停止**が可能。



# 生産センシングシステム Dsupport-Eye

## データ収集

カメラは最大4台まで設置可能。  
マシン動作に合わせて各部の画像を保存。  
**見える化やトレーサビリティ管理の強化に貢献。**

型開限

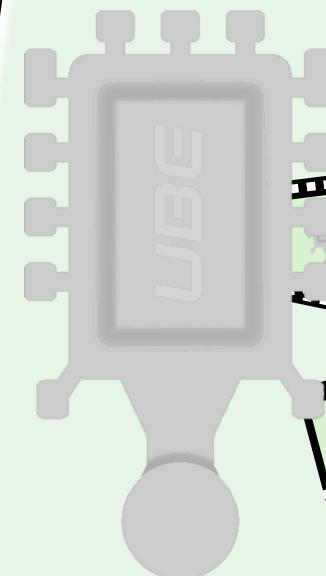


ロボット原位置

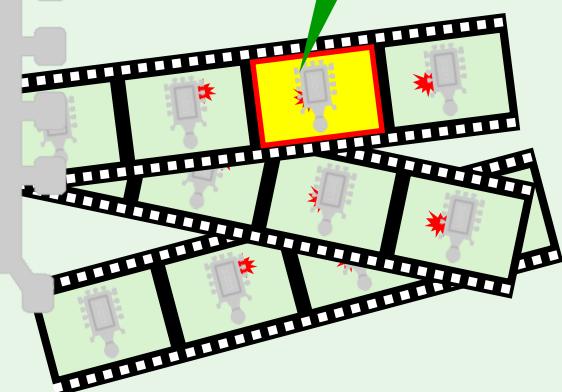
湯面検知

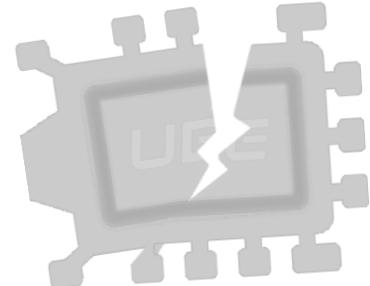


射出後退限



ショットNo.○○○○



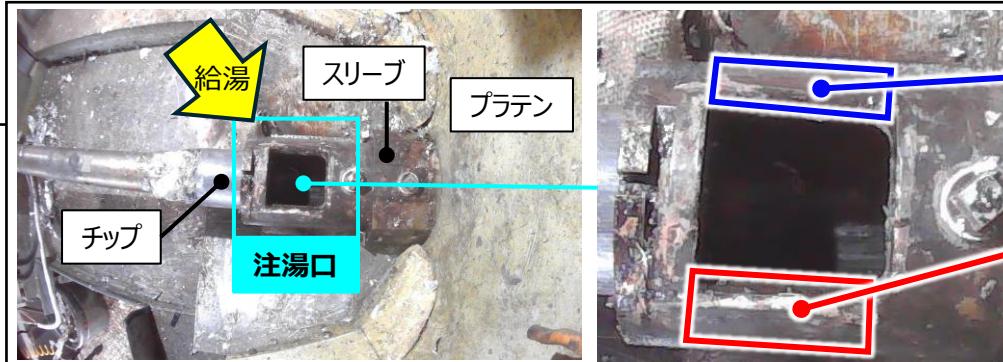
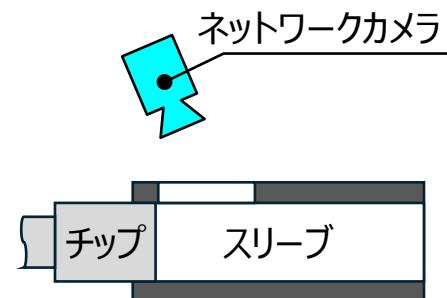


## ■ こんなお悩みありませんか？

- 気付かない間にスリーブ上にアルミが堆積している。
- アルミ片が溶湯に混入して鋳造品質が悪化するかも。

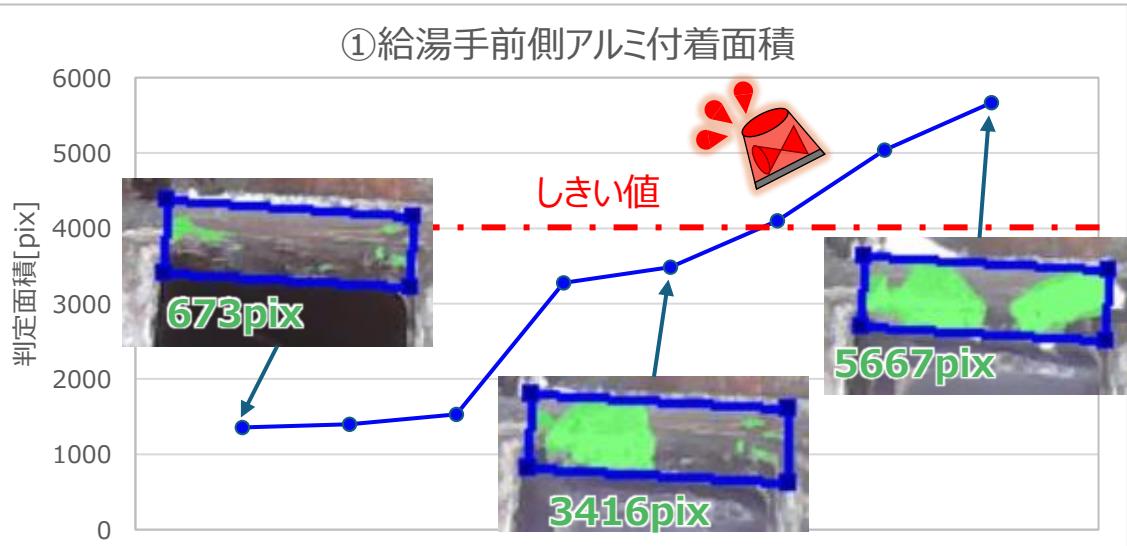
## ■ Dsupport-Eyeの活用

### 1. 撮影環境



- ①給湯手前側  
ラドルからの垂れ  
スリーブからの逆流
- ②給湯奥側  
注湯時のこぼれ  
スリーブからの逆流

### 2. 判定結果



## 【適用効果】

- 注湯口周辺に付着するアルミ片を判定
- 湯こぼれを早期検出！
  - アルミ片の混入前に発見！

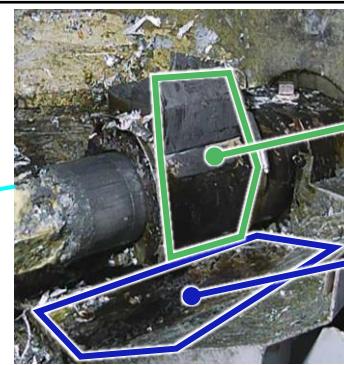
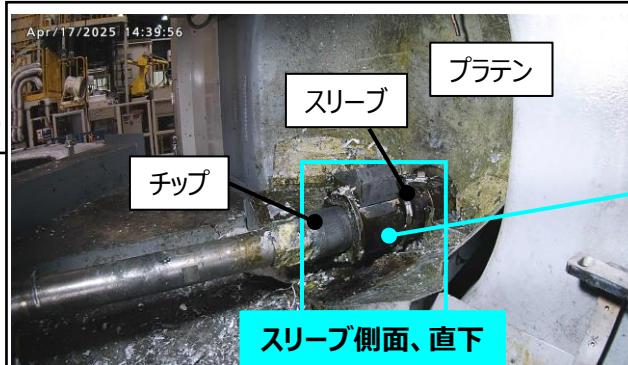
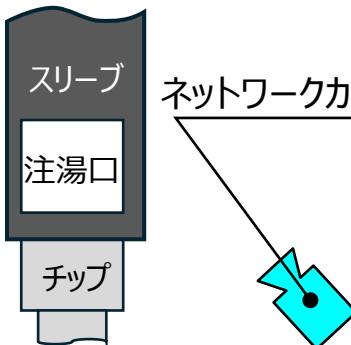
## ■ こんなお悩みありませんか？

- いつから湯こぼれが発生していたか分からない。
- 見えない場所で火災が発生していないか心配だ。



## ■ Dsupport-Eyeの活用

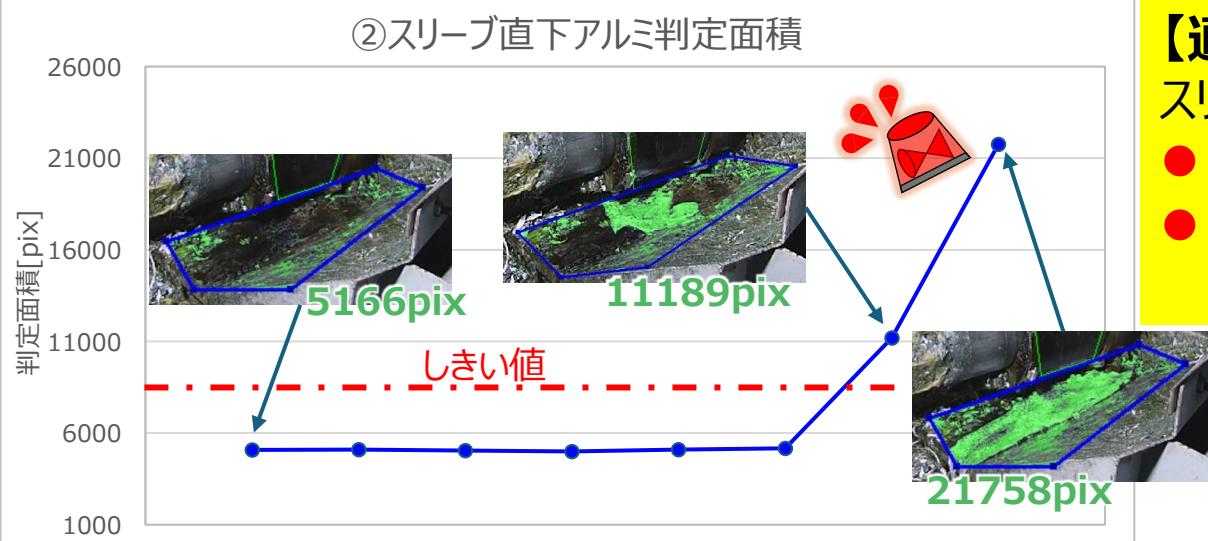
### 1. 撮影環境



- ①スリーブ側面  
スリーブからの垂れ
- ②スリーブ直下  
スリーブからの落下

### 2. 判定結果

②スリーブ直下アルミ判定面積



### 【適用効果】

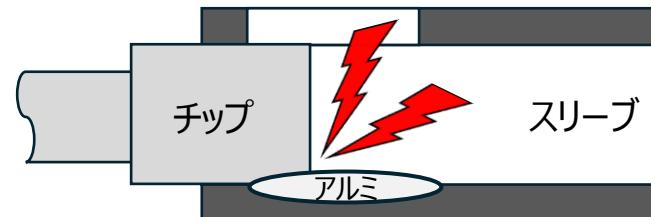
- スリーブ周辺に付着するアルミを判定
- **湯こぼれを早期検出！**
  - **火災発生前に発見！**

# 事例 スリーブ内アルミ付着

UBE / UBEマシナリー株式会社

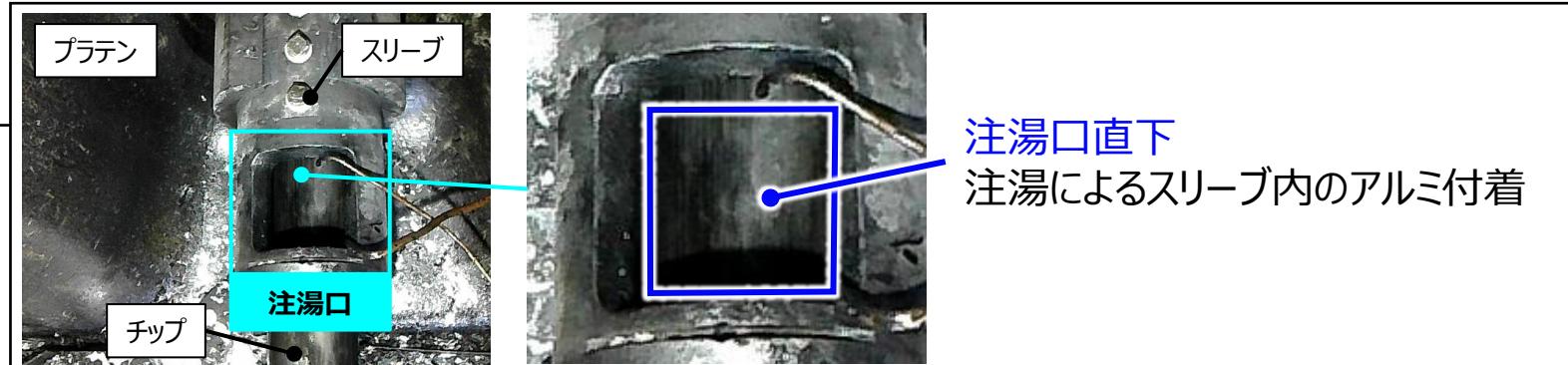
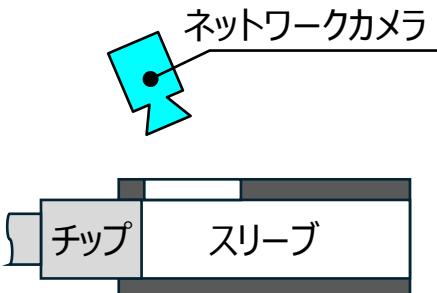
## ■ こんなお悩みありませんか？

- スリーブ内のアルミ付着でチップかじりが発生している。

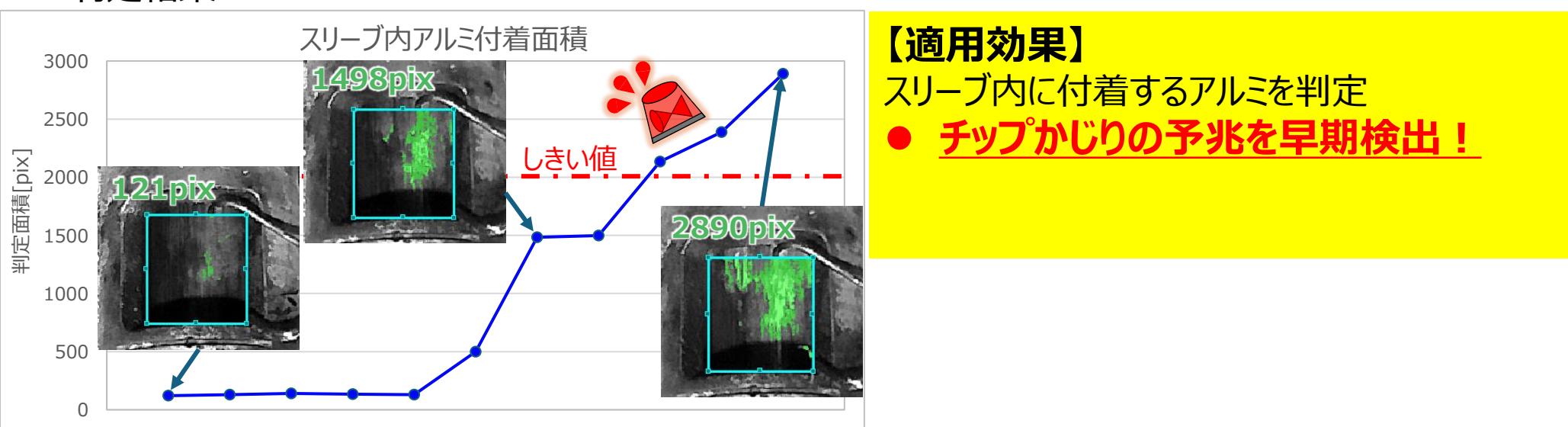


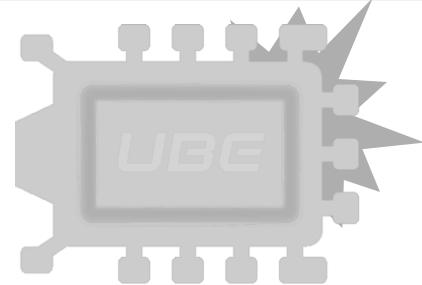
## ■ Dsupport-Eyeの活用

### 1. 撮影環境



### 2. 判定結果



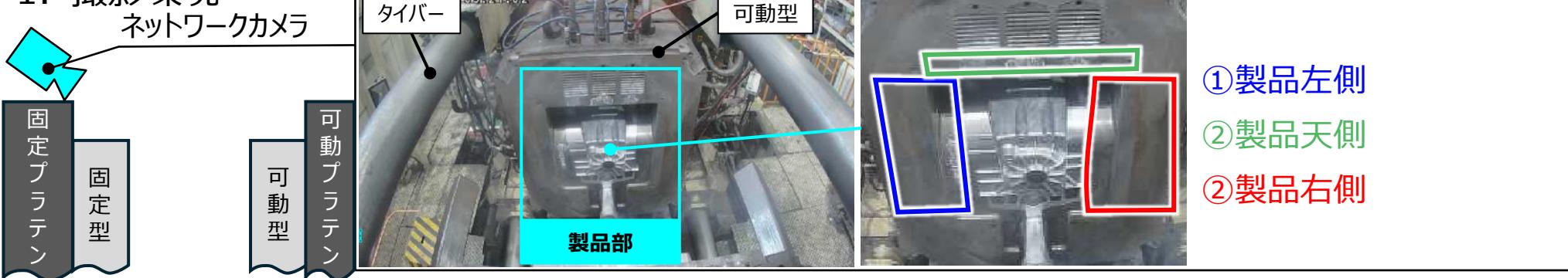


## ■ こんなお悩みありませんか？

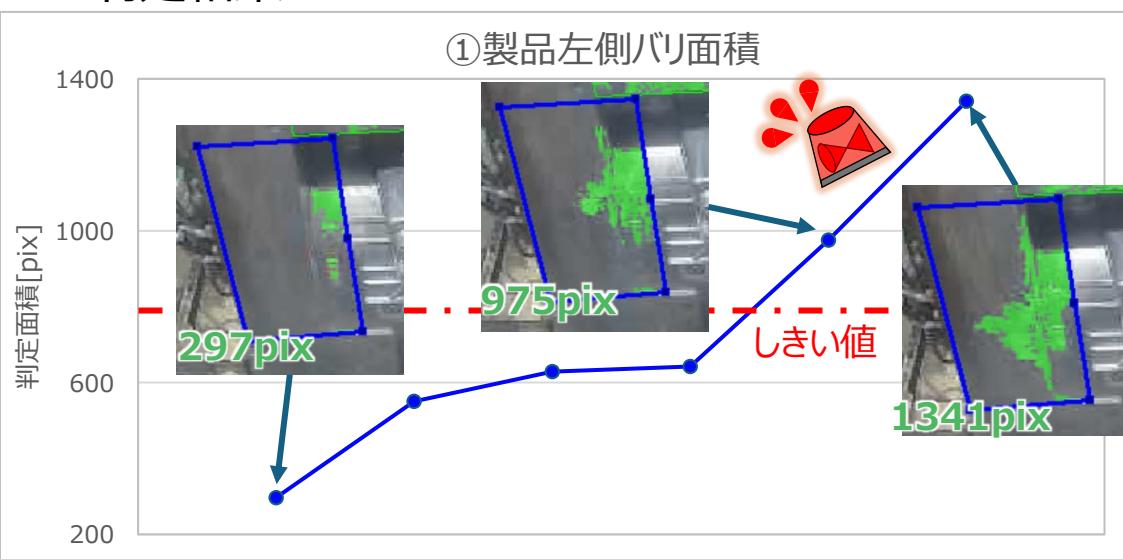
- 気付かない間にバリが発生している。
- バリが継続し、金型を痛めないか心配だ。

## ■ Dsupport-Eyeの活用

### 1. 撮影環境



### 2. 判定結果



### 【適用効果】

製品周辺のバリを判定

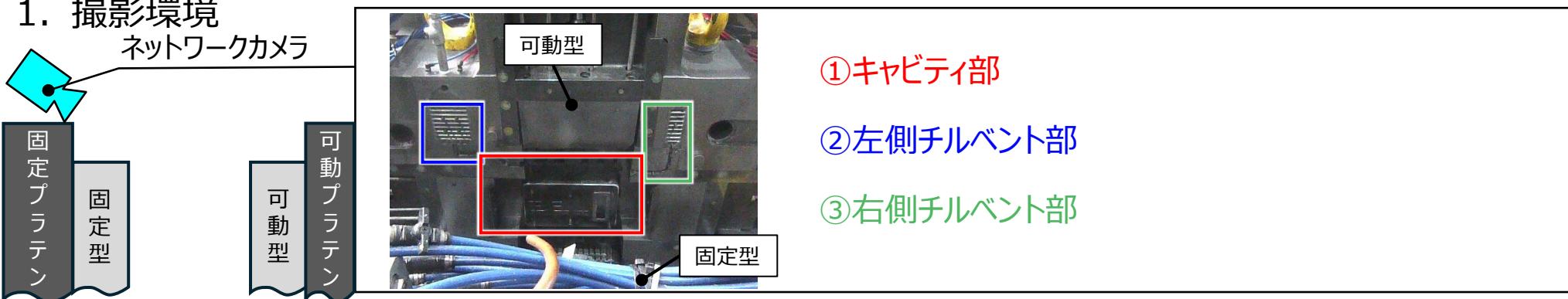
- バリの発生を早期発見！
- フラッシュを検知！

## ■ こんなお悩みありませんか？

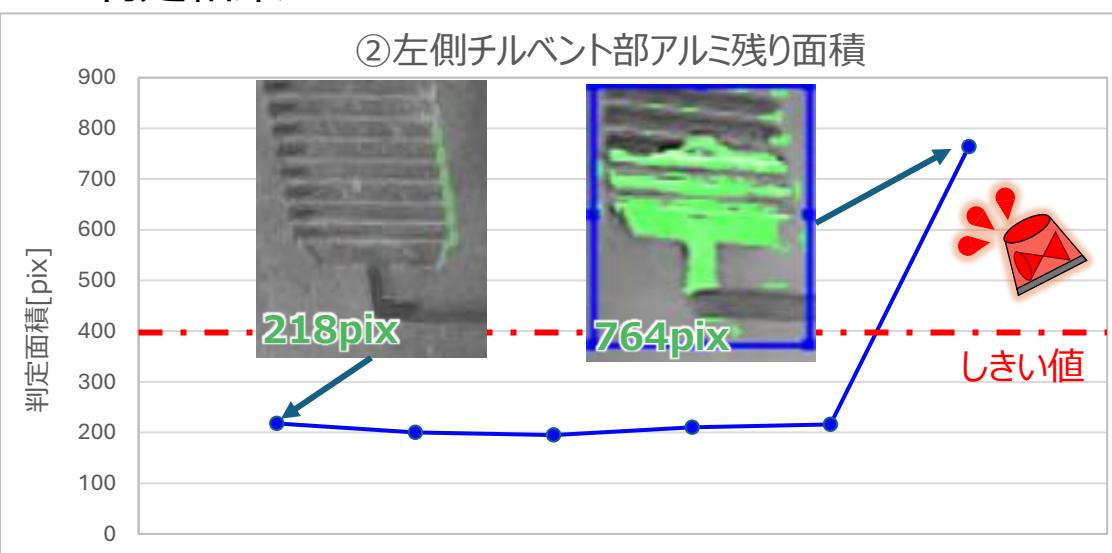
- アルミ残りを挟み込み金型を損傷させないか心配だ。
- アルミ残りを巻き込み鋳造品質が悪化しないか心配だ。

## ■ Dsupport-Eyeの活用

### 1. 撮影環境



### 2. 判定結果



### 【適用効果】

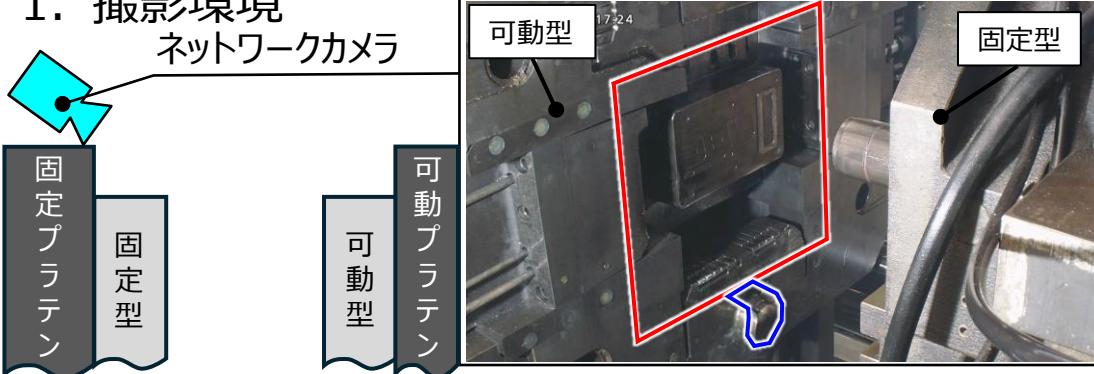
金型面に付着するアルミ片を判定  
● アルミ残りを発見！

## ■ こんなお悩みありませんか？

- 焼き付きの不良を見逃すことがある。
- 金型の焼き付きの判別が作業者によって異なっている。

## ■ Dsupport-Eyeの活用

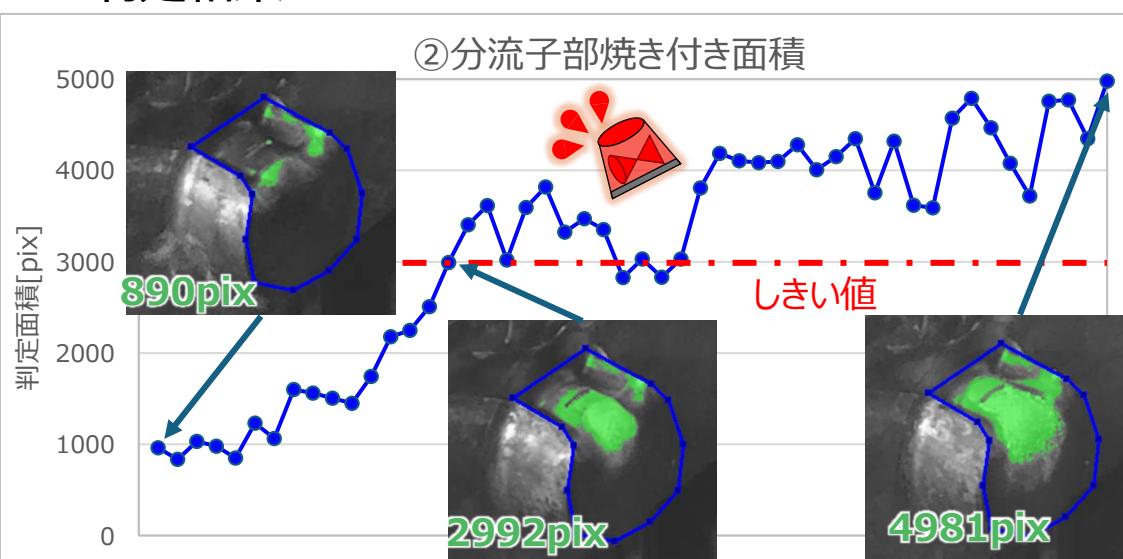
### 1. 撮影環境



①キャビティ部

②分流子部

### 2. 判定結果



## 【適用効果】

- 金型に発生した焼き付き面を判定
- 金型の焼き付きを早期発見！
  - 金型の焼き付きを定量的に検出！